

方丈記



徒然草

を学ぶ

中世の随筆『方丈記』『徒然草』には激動の時代の中、様々な生き方が示されています。それらは混迷、混乱の現代に生きる我々にとっても貴重な指針となります。コロナ後、どう生きべきか、古典にさぐります。

1月28日	1月21日	1月14日
-------	-------	-------

いずれも金曜日
午前10時～正午

『徒然草の言葉』

『鴨長明の苦悩』

『災害と草庵』



浅見 和彦先生プロフィール

東京大学文学部国文科卒業。成蹊大学名誉教授。専門は日本古典文学で古典の美しさ、素晴らしさを追及。他に地域文化論、環境日本学。高尾・浅川の自然を守る会の会長も務める。NHK ラジオ古典講読『方丈記』と鴨長明の人生』では長期にわたり担当した。(2019年～2020年) 著書、共著に『方丈記』(ちくま学芸文庫)、『発心集』(角川ソフィア文庫)、『日本文学気まま旅～その先の小さな名所へ』(三省堂) ほか

- ★ 講師 浅見 和彦さん(成蹊大学名誉教授)
- ★ ところ 公民館東分館 1階集会室A・B
- ★ 対象 市内在住・在勤・在学の方
- ★ 定員 20人(申込順)
- ★ 参加費 無料
- ★ 申込 12月16日(木)から電話または公民館東分館窓口へ
公民館東分館 ☎042(384)4422